

平成 13 年 2 月 1 日  
第四管区海上保安本部水路部

# 海 洋 概 報 (平成 13 年第 1 号)

(伊勢湾流況調査)

## 1 調査概要

調査期間 平成 13 年 1 月 12 日 ~ 14 日  
(海上保安庁水路部が、海洋汚染調査及び放射能調査に併せて実施)  
平成 13 年 1 月 26 日 (流況調査 )

調査海域 伊勢湾  
海洋汚染調査及び放射能調査測点 (別図参照)  
流況調査 測点 (別図参照)

調査船 測量船「いせしお」(海上保安庁水路部実施分は測量船「海洋」)

現地調査員 水路部水路課専門官 米須 清  
" " 海象係長 木村 琢磨  
測量船「いせしお」船 長 山本 常夫  
" 機 関 長 石原 信雄  
" 航海士補 渡部 千尋  
" 機関士補 福嶋 力

調査項目 水温・塩分

資料整理 海象係長 木村 琢磨 海象係員 山崎 哲也

## 2 観測経過

1 月 12 日 ~ 14 日は、海上保安庁水路部の測量船「海洋」が、海洋汚染調査及び放射能調査に併せて、全 20 測点の水温・塩分の観測を実施した。

1 月 26 日は、測点 5・6・7 において、南方海上の低気圧の影響による南方からの大きなうねりと、北西方からの強い季節風の影響により、海上模様が悪く観測作業には苦慮したが、全測点の観測を実施することができた。

### 3 海況（成果は別図参照）

#### 海洋汚染調査及び放射能調査

1月12日～14日（海上保安庁水路部実施）

水温： St.I-16 及び伊良湖水道付近が、全般的に平年にくらべ1  
程度高かった。

底層において、伊勢湾西部が平年にくらべ1 程度低く、  
逆に北東部が平年にくらべ1 程度高かった。

その他の地点はほぼ平年並みであった。

塩分： 全体的にほぼ平年並みであった。

#### 流況調査

1月26日

水温： 全般的に平年にくらべ1 程度低かった。

塩分： 全般的にほぼ平年並みであった。

\* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。